

一般質問



川下 議員

○DVD「モコちゃんに看取られる」制作における市の関わりと意義等について

質 このDVDが制作された目的は何か。

長寿介護課長 元気なうちに自分の思いを家族や関係者に伝えるエンディングノートの作成や、人生の最終段階における医療ケアについて繰り返し対話をする人生会議の大切さを市民に広く知っていただくことが大切であることから、松浦市在宅医療介護連絡協議会に提案し制作していただきました。

質 このDVDを活用しての反響と見えてきた課題は。

長寿介護課長 DVDを友人にも見せたいとか早速エンディングノートを書きますなどの反響がありました。一方で、家族や若い世代と一緒にこの動画を見る機会や対話するきっかけづくりをどのようにしたらよいのかという課題も見えてきました。

質 担当課長の答弁にあるようにこの課題は表面化しにくい。しかし大変重く重要なものと考えて。市長の考えを。

市長 まずは終末期においても訪問医療を担う医師や医療・介護専門職

をはじめ、家庭や地域のサポート体制があれば病院ではなく自宅で看取りまでできることを広く市民に知っていただくことが必要だろうと思います。また、その課題を解決するためには、関係機関と連携を取りながら支援体制の構築を図り、最後まで自宅で暮らすことができるということとを、機会を捉えて市民に伝えていきたいと思っています。

○市のコロナ対策（ワクチン接種及び経営支援）について

質 今回のワクチン接種事業は①約1億人が短期間に2回接種すること、②ワクチンの性質と関心の高さから多数の問い合わせが予想される③必要に応じて接種証明を出す必要も想定される。など従来の予防接種事業とは大きな相違点がある。その上、国は今回各自治体に「ワクチン接種記録システム」の運用を求めている。そのような状況で、市民からの問い合わせに対する現場の対応は大丈夫か。

健康ほけん課長 市民の皆さまに対する問い合わせは、委託業者にお願ひしてコールセンターを設置します。

その他「文化財保存活用地域計画策定と文化観光推進事業について」「児童生徒の学力向上に向けた環境整備とアンケートなどについて」質問いたしました。

一般質問



武部 議員

○史跡松浦党梶谷城跡保存整備基本計画の実現に向けた取り組みについて

質 史跡梶谷城跡保存整備基本計画について、市としてどのようにしようと考えているのか。

文化財課長 基本計画の中でまとめられている歴史調査、環境調査などを参考資料として活用したいと考えます。

質 木が大きくなって眺望できなくなっています。伐採し整備すべきではないか。

文化財課長 今後策定を計画している保存活用地域計画の中で検討を進めていきたいと思っています。

質 梶谷城跡の麓で営業しているポイントレースチケットショップ松浦の環境整備協力金が市に還元されているが、オープン当初からの年度別売上金の推移と協力金を示してください。また、この協力金の今までの使途について、さらに、この環境整備等協力金は、原則、今福のため、梶谷城のために使うのが筋ではないか。

地域経済活性化課長 売上は平成28年度7億5304万6400円、29年度10億9476万8900円、30年度11億271万1700円、31年度

9億4451万9000円で、協力金は4年間で3895万379円です。総務課長 使途は、滑栄地区の急傾斜地崩壊対策事業、小中学校の図書購入費や学力向上事業、文化活動経費などです。

市長 地元への配慮が必要であると考えており、地域振興基金に積み立て、滑栄地区の事業に充当しています。今後も優先的に充當したいと考えています。

○新型コロナウイルス感染症のワクチン接種について

質 新型コロナウイルス接種は、13医療機関で個別接種することになっているが、接種スケジュールについて、医療従事者、高齢者、基礎疾患のある人、高齢者施設の従事者、60～64歳、一般の人などの1回目、3週間後の2回目の方とダブってくる。調整は市の職員チームを結成し対処すべきだと思うが。

副市長 今後、VIRSYS支援、ワクチン移送、接種券郵送、集団接種の際のサポートなどの事務が考えられるため、庁内に感染症ワクチン接種の推進チームを発足しました。

質 移動手段を持たない高齢者や交通弱者の方への送迎支援は。

健康ほけん課長 移動手段の負担が掛からないように、各地区の病院または診療所での個別接種を行うこととしています。身近な医療機関で接種をしていただきたいと思います。